

区分	経年別教育			
名称	1年目教育		2年目教育	
対象	看護師免許所得後、経験1年目		看護師免許所得後、経験2年目	
目的	社会人、職業人としての役割を理解し、基礎看護能力を身に付ける		看護実践能力を養い自己の看護観を育成する	
目標	1	自己を振り返り、不足している課題を見つけ習得する	1	ケーススタディーを通して看護過程の理解を深め、日々の看護に役立てる
			2	自己を知り、他者との協調性を養う
4月				
5月		Aチーム・Bチームに分かれて実施		懇親会 等
6月		「2ヶ月経ってどうしてる？」ディスカッション 「2年後の〇〇な私へ」テスト		
7月				看護技術テスト 等
8月				
9月		「ストレスマネジメント - ストレスとうまくつきあう方法 - 」 講義・グループワーク		心理(講義)ーストレスマネジメントー グループワーク
10月				
11月		ー いろんな患者さんを考えよう ①ー 個人学習・グループワーク		ケーススタディの進行状況の確認
12月		ー いろんな患者さんを考えよう ②ー 個人学習・グループワーク		
1月		ー いろんな患者さんを考えよう ③ー 個人学習・グループワーク		ケース発表会
2月		ー いろんな患者さんを考えよう ④ー 個人学習・グループワーク		1年の振り返り
3月				

* 随時、OJT委員会・プリセプター委員会からの研修実施
* 必須の集合教育に参加(年6回)

* 随時、OJT委員会からの研修実施

区分	臨床実践能力向上支援教育					
名称	看護補助教育		OJT委員会		領域別看護研究	
対象	看護補助		病棟責任者、及び選任された者		経験年数2・3年以上から選任された者	
目的	看護部の方針に基づいた教育を行い、質の高いケアを提供する		臨床実践能力の向上と、個人目標の支援し、質の高いケアを提供する。		日常業務の中で研究意義を持ち、専門職としての知識・技術の向上を図る	
目標	1	介護手順に沿った知識・技術の習得ができる	1	職場(領域)の特性に応じた実践能力の習得	1	看護研究の意義・目的を理解し、基礎を学ぶ
	2	院内・院外の教育に積極的に参加できる	2	個人の段階にあった実践能力の習得	2	研究論文の構成を理解し、実際に論文を作成し、発表することができる
			3	個人目標に応じた実践機会を与え、自己成長を支援する	3	看護実践の中で問題を見つけだし、追求し改善につなげることができる
4月				OJTとは？ プリセプター制度とは？		研究の方向性・計画書・倫理書・材料費等についての説明 メンバー顔合わせ
5月		接遇				研究計画書提出
6月		接遇 介護技術 研修ビデオ作成				各領域計画発表 倫理書・同意書提出
7月		急変時の対応		各領域別Ⅰ期評価の状況報告、今後の課題について		
8月						各領域進行状況発表
9月		急変時の対応 介護技術 研修ビデオ作成				
10月		死後の処置		各領域別Ⅱ期評価の状況報告、今後の課題について		各領域進行状況発表
11月		死後の処置 介護技術 研修ビデオ作成				
12月						進行状況報告 原稿作成、発表について
1月		接遇		各領域別Ⅲ期評価の状況報告、今後の課題について		
2月		接遇				原稿提出 研究発表会 最終反省会
3月		介護福祉士教育と年間まとめ		各領域別Ⅳ期評価の状況報告、1年のまとめ、次年度の課題		

区分	個人目標支援教育			
名称	実習指導者育成コース	実習指導者コース	集合教育	師長・主任研修
対象	経年3年目以上でこれから実習指導に携わる者 ※実習指導者コースの方も自主参加可能	実習指導に携わっている者	全職員	師長・主任
目的	効果的な実習指導の方法を習得する	効果的な実習指導ができる	病院職員の知識・技術の向上を図る	師長・主任研修の目標を達成できる
目標	1 指導補佐として実習に関わり基本的な指導方法を習得する(看護過程の展開の指導方法を習得する)	1 実習効果を上げるため病棟環境(人的・物的)を整える	1 専門知識の向上と実践能力の習得	1 自己の価値観や目的を内省し、その意味や重要性に気づく
	2 実習指導に前向きな姿勢で望める		2 専門技術についての知識を深め、正確な技術を習得する	2 自己の才能について再発見し、方向性をみにつける
	3 自己の看護観を基盤とし、学生観・指導観を確立する			3 1, 2から、自分が望むビジョン実現の行動計画を作成し、行動の決意をする
				4 中堅看護師を育てるための必要な管理行動、管理能力を養う
4月				
5月	指導要綱の解釈(大学・短大・高校) 年間計画の説明			
6月			経年1年目必須 EKG基礎知識編 安全管理① A 経年1年目必須 EKG基礎知識編 安全管理① B	1.講義(看護部長) 2.自己のリーダーシップ特性を知り、理想とのギャップをどうカバーするか、領域別に分かれて検討
7月	ドメイン毎の情報・解釈 現在の学生気質について			
8月			経年1年目必須 HD看護 A 経年1年目必須 HD看護 B	
9月	関連図・看護診断 望ましい指導者とは	グループワーク 実習指導を行う中での問題点の抽出をし、改善点・具体策を立案する	経年1年目及び老年・精神領域必須 A 経年1年目及び老年・精神領域必須 B	1.講義(会議・ミーティングのあり方) 2.6月に検討した内容の経過報告をグループで発表 3.領域別中間発表
10月			院外研修研修報告会 褥瘡ケア	
11月	関連図・看護診断 カンファレンスの持ち方		経年1年目必須 周手術期看護 A	1.伝達講習、循環器フィジカルアセスメント 2.9月に検討した中堅に対する研修や指導内容を実施した結果と修正
12月			経年1年目必須 周手術期看護 B	
1月	看護計画立案			
2月		グループワーク 改善点の実施結果報告、来年度へ向けての課題	安全管理②	
3月	1年間の学び		行動制限	1.管理報告 2.領域別最終評価発表

※DM基礎知識編(経年1年目必須)2回 日未定